資料-2

雄物川減災対策協議会
～大洪水から70年・30年～

雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会
作業部会　取組報告

・令和7年度　雄物川総合水防演習　開催結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

・国・県・市の3機関合同による排水ポンプ車配置・操作訓練　開催結果・・・・・・2

・R7重要水防箇所合同巡視　開催結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

・玉川ダムの緊急放流を想定した合同危機管理演習　開催結果・・・・・・・・・・・・5

・令和7年度　雄物川危機管理演習　開催結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

・マイ・タイムライン講習会　開催結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

資料-2

雄物川減災対策協議会
～大洪水から70年・30年～

令和7年度 雄物川総合水防演習（速報版）

令和 7年 5月 25日
（湯沢河川国道事務所）

本格的な出水期を迎えるにあたり、水防技術の向上及び関係機関と連携した防災体制の強化を図るため、水防団をはじめとする実践的な演習や小学生・要配慮者等による避難訓練実施など、地域社会全体が参画した総合水防演習を開催しました。

- ■ 開催日時　令和7年5月25日（日）9：00～11：30
- ■ 実施場所　大曲花火大橋下流（秋田県大仙市小貫高畑地先）
- ■ 演習内容　水防工法訓練、救助・救出・救護訓練、排水作業訓練、ライフライン復旧訓練、防災展　他
- ■ 参加団体　40団体
- ■ 参 加 者　吉岡国土交通事務次官、鈴木秋田県知事、老松大仙市長、（衆）御法川信英議員、（衆）村岡敏英議員、（参）寺田静議員をはじめとする約2,400人（来賓及び一般見学者含む速報値）

開会式

吉岡国土交通事務次官や鈴木秋田県知事からご挨拶を頂き、小野県建設部部長からの訓示が行われました。


吉岡
国土交通事務次官


鈴木
秋田県知事


小野
県建設部部長

閉会式

西村局長の講評、老松大仙市長のご挨拶、高野県建設部次長から閉会宣言を頂き、災害を鎮める願いを込めた昼花火で閉じました。


西村
東北地方整備局長


老松
大仙市長


高野
県建設部次長

実施した主な演習


水防団による
月の輪工


水防団による
シート張り工


老松市長と田中所長
とのホットライン


住民による避難訓練
（住民等）


支援物資輸送訓練
（住民、タカヤナギ、みちのく（大曲仙北広域市町村圏組合消防）
コカ・コーラボトリング）


救助・救護訓練


排水作業訓練
（TEC-FORCE）


ライフライン復旧訓練
（大仙市上下水道局、他）


防災展

訓練のポイント

〇水防災意識向上のための地域住民による避難訓練や被災者の救出訓練およびライフラインの復旧訓練。
〇雄物川の流域特性を踏まえた、ダムの特別防災操作や小河川の排水作業等を盛り込んだ訓練。
〇排水訓練にはパワーアシストスーツおよびウェアラブルカメラを装着するなど、各所で新技術を活用。
〇AKT秋田テレビ、秋田魁新報、秋田民報社、河北新報社、秋田建設工業新聞が取材

資料-2

雄物川減災対策協議会
～大洪水から70年・30年～

雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会　作業部会
「国・県・市の3機関合同による排水ポンプ車配置・操作訓練」を開催しました！

令和　7年　6月 2日
（国・秋田県・大仙市）

1. 概要

○ 本現地視察は、雄物川圏域内の関係機関で共有し情報交換の場として活用するほか、得られた情報を基に流域内に広く展開して頂き、あらゆる関係者による減災対策の更なる推進・実践していくものであります。

○ 今年度最初の現地視察では、大仙市福部内川遊水地で取り組んだ内水氾濫への対策訓練状況を現地視察するものであります。

2. 日時／実施状況

➢ **日時 :令和7年6月2日(月)　14:00～15:00**

➢ 現地視察箇所:福部内川遊水地(大仙市大曲須和町地内)

➢ **参加者:秋田県仙北地域振興局、秋田市、大仙市**
東日本旅客鉄道(株)、湯沢河川国道事務所
計33名参加

➢ 次第　進行:事務局　秋田県仙北地域振興局 建設部 保全・環境課

1. あいさつ(秋田県仙北地域振興局建設部　今野部長)
2. 福部内川水門稼働・排水ポンプ車配置・操作訓練
3. 意見交換





↑ 秋田県仙北地域振興局
建設部　今野部長

・昨年、一昨年の大雨により、大仙市では内水、一部外水による甚大な浸水被害を受けた。
雄物川と県管理河川の合流点付近で被害が生じており、地元からも被害が生じないよう強く要望されている。県においても、県管理河川周辺に河川監視カメラの増設や、被害箇所の早急な復旧を行っているところ。
とは言え流域全体に大雨が降った場合は県だけでは難しいため、今後も国・県・市全体で流域の治水安全度を向上させる取り組みが非常に大事であり、今回の訓練を継続していくことが重要である。



↑ 遊水地表示盤
の点灯操作



↑ 3機関の排水ポンプ車



↑ 排水樋管の機側操作



↑ 水中ポンプ



↑福部内川水門の操作訓練状況



↑ 福部内川遊水地の貯留状況説明



↑ 乗り越し管への据付状況



↑ 水中ポンプ据付状況



↑ 国土交通省・大仙市・秋田県による排水ポンプ車配置訓練状況

資料-2

雄物川減災対策協議会
～大洪水から70年・30年～

雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会　作業部会
「湯沢河川国道事務所管内　R7重要水防箇所合同巡視」を開催しました！

令和7年5月29･30日
令和7年6月10･11日

1．開催概要

■日時：湯沢雄勝地区：令和７年５月２９日
横手平鹿地区：令和７年５月３０日
羽後地区　　：令和７年６月１０日
大曲仙北地区：令和７年６月１１日

■実施内容
・湯沢河川国道事務所管内の重要水防箇所を関係機関と確認し、重要監視箇所の危険箇所の共有を行った。

2．出席機関

■湯沢雄勝地区　　参加：１６名
湯沢市、湯沢市消防団、湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部、秋田県雄勝地域振興局

■横手平鹿地区　　参加：３９名
横手市、横手市消防団、秋田県平鹿地域振興局

■羽後地区　　参加：１４名
羽後町、湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部、秋田県雄勝地域振興局

■大曲仙北地区　　参加：６４名
大仙市、大仙市消防団、大曲仙北広域市町村圏組合消防本部、秋田県仙北地域振興局

3．自治体との意見交換（意見要旨）

■湯沢雄勝地区
・山田堰改築による水害リスク軽減に大きな効果があることから１日も早く完成させてほしい。

■横手平鹿地区
・河岸洗堀が進行している箇所もあるので注意が必要。

■羽後地区
・鵜巣地区にて頻繁に内水被害が発生しており、内水氾濫における対策事例を紹介してほしい。

■大曲仙北地区
・後川は、背後に家屋があり用水が入り込む川なので洪水時に注意が必要。
・沼館川排水樋門にて乗越ポンプで排水する際、安全のため市道を閉鎖し、昼夜誘導している。ホースブリッジの設置ではなく、市道部にも管を設置してほしい。
・カメラを設置している箇所は映像をwebで見られるようにしてほしい。

4．大仙市長から

■市・県・国で情報共有や連携を大切にしてほしい。



大曲仙北地区



横手平鹿地区



湯沢雄勝地区



羽後地区



資料-2

雄物川減災対策協議会
～大洪水から70年・30年～

雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会　作業部会「秋田河川国道事務所管内　R7重要水防箇所合同巡視」を開催しました。

令和7年5月20日
国・秋田県・秋田市
秋田市消防本部

開催日：令和7年5月20日（火）9:00～12:00
出席者：秋田市、秋田市消防本部、水防団
　　秋田県秋田地域振興局
　　秋田河川国道事務所
点検箇所：重要水防箇所8箇所の合同巡視
　　激特区間の堤防整備状況
　　新設した陸閘、樋門樋管の確認

重要水防箇所確認



陸閘確認



「道路管理者と陸閘管理者の合同操作訓練」を実施しました。

令和7年5月30日
国・秋田県

開催日：令和7年5月30日（金）13:00～15:00
参加者：[道路管理者] 秋田県秋田地域振興局
　　[陸閘管理者] 国交省秋田河川国道事務所
訓練場所：向野陸閘（秋田市雄和向野字牛ノ首）
　　※国道341号上に建設
訓練内容：道路通行規制の手順確認
　　道路管理者と陸閘管理者の連絡事項確認
　　陸閘閉鎖訓練

陸閘閉鎖開始時



陸閘閉鎖完了時



資料-2

雄物川減災対策協議会
～大洪水から70年・30年～

【初開催】玉川ダムの緊急放流を想定した合同危機管理演習

国土交通省東北地方整備局
玉 川 ダ ム 管 理 所

令和7年7月24日（木）に玉川ダムの緊急放流を想定した合同危機管理演習を実施した
①ダムの緊急放流に伴う関係機関との防災情報伝達とダム下流域の住民等への避難対応の確認および習熟
②演習を通じたタイムラインの改善を図る
※「玉川ダム・鎧畑ダムの事前放流の連携運用実施のための大雨を対象としたタイムライン（事前防災行動計画）（案）」を基本とした「ロールプレイング型図上演習」を仙北市役所田沢湖庁舎にて関係機関約70名の参加で実施



▲仙北市災害対策本部


▲玉川ダム管理所長から仙北市長へのホットライン状況



▲仙北市長による玉川ダムホットライン情報の本部内伝達


▲鎧畑ダム対応状況



▲報道機関からの取材


▲演習終了後の振り返り

★開催概要★
○日時：令和7年7月24日（木）13:00～17:15
○参加機関：玉川ダム管理所、鎧畑ダム管理事務所、秋田県仙北地域振興局、玉川発電事務所、東北電力(株)、仙北市
合計約70名（プラス秋田河国若手職員2名）

★演習内容★
●玉川ダム管理所、鎧畑ダム管理事務所
・ダムの緊急放流に係る情報提供（管理所長→仙北市長ホットライン）
・避難情報発表の判断への助言
●仙北市
・ダムの緊急放流に係る情報の収集伝達
・避難情報の検討・発表　・避難所の開設・運営
・その他避難対応全般
●秋田県 仙北地域振興局 建設部、玉川発電事務所、東北電力㈱
・ダムの緊急放流に係る情報の収集

★演習を受けて★
（仙北市長より）
◆実際の対応を体験できたことは非常に良かった。住民参加型訓練も実施していきたい

資料-2

雄物川減災対策協議会
～大洪水から70年・30年～

【河川】雄物川圏域の減災対策協議会
令和7年度　雄物川危機管理演習を開催しました！

令和7年10月29日
秋田河川国道事務所

1. 概要

○ 危機管理演習は、雄物川圏域の減災対策協議会における「雄物川の減災に係る取り組み方針」に基づき、大規模氾濫を想定し、ロールプレイング方式により行いました。

○ 本演習は、今後の大規模氾濫時への備えとして、河川管理者と自治体が協力して作成した”避難指示等の発令に着目したタイムライン”の検証・改善および防災対応行動の確認・習熟を目的とし、今回は秋田市と秋田河川国道事務所が合同で実施しました。

2. 開催日時・会場・スケジュール

➢ 日時 ：令和7年10月29日（水）
➢ 会場 ：秋田河川国道事務所および秋田市役所
➢ 参加者：秋田市、横手市、大仙市、仙北市、美郷町、
秋田地方気象台、JR東日本秋田支社、東北電力、
秋田県（仙北地域振興局、平鹿地域振興局、雄勝地域振興局）、
防災エキスパート、秋田河川国道事務所、湯沢河川国道事務所　約110名参加
➢ スケジュール：

1. 開会	08:30～08:35
2. 演習直前説明、初期情報の確認	08:35～08:40
3. ロールプレイング型図上演習	08:40～11:30
4. 演習後の講評	11:40～11:57
5. 閉会	11:57～12:00

3. 主要演習項目（※特に本演習で着目した項目）

1. 情報収集・整理・共有　2. リエゾンを介した情報提供・情報共有
3. ホットラインを介した情報提供・情報共有
4. 収集整理した情報に基づく今後の見通し分析
5. 現場要員への適切な情報提供・指示　6. 住民・マスコミからの問合せ対応
7. 避難情報発令のための情報提供・助言　8. 避難情報発令・避難支援
9. 災害対策用機械による減災対応　10. 決壊箇所の復旧

4. 演習場面

○ 演習想定日時は、梅雨前線の発達に伴い秋田市域に大雨をもたらす気象状況の中、「2026年7月29日08時30分演習開始」とし、雄物川及び太平川等の県管理河川等が急激に水位上昇する設定とした。

○ 被災想定は、国で管理する雄物川の堤防漏水や越水のほか、秋田市内における内水被害などを想定した。時間の経過とともに、水位が上昇し、堤防が決壊に至り、大規模氾濫が発生する想定とした。

○ また、決壊した堤防を復旧する時間帯も演習場面とした。

5. 演習状況


秋田河川国道事務所演習会場


秋田市役所演習会場


ホットラインによる情報提供

6. 演習後の講評（一部抜粋）

・有事の際は、落ち着いて迅速な行動が取れるよう、市長への情報提供や関係機関との連携などを深めていきたい。
・クロノロを使った情報共有を図っておりましたが、まだまだ重要な情報が漏れていたというところもある。
・地形とか地質の特性を把握する上では、地名を把握しておくことが大事である（茨島、牛島、明田等）。

7. 演習結果に基づくタイムライン連携防災行動のポイント

演習結果に基づいて、タイムラインに関連する連携防災行動の課題を抽出し、ポイントをとりまとめた。

項目	秋田河川国道事務所	秋田市
リエゾンを介した情報提供・情報共有	・リエゾン情報を受け取る役割を決めておく（リエゾン情報を受け取る役割がなく混乱が生じていた）	・リエゾンの活用が不十分であったため、リエゾン活用の手順や内容を整理する ・リエゾンによる河川情報提供時は全体に伝わるようにする（マイクの利用等）
ホットラインを介した情報提供・情報共有	・ホットラインの情報は双方向とする（一方的な情報伝達としない、排水ポンプや浸水予想の確認などがあってもよい） ・破堤等、重要情報は速やかに伝達する	・ホットライン利用の判断基準を明確にする ・状況の事務連絡だけではなく、河川管理者の分析や今後の対応方法についての助言があると良い ・秋田市側からも積極的に情報収集する ・ホットラインで得た重要情報を全体に周知する
避難情報発令のための情報提供・助言	・洪水予報はスムーズに伝達できるようにする ・決壊情報は速やかに自治体に共有し、水防団や住民避難への避難指示に役立ててもらう	・人命に影響する重要情報（堤防決壊、漏水等）については、即座に情報共有する（決壊情報の共有が遅れていた）
災害対策用機械による減災対応	・排水ポンプ車の要請・配置手順を確立する	・排水ポンプ車の派遣・調整等は早め早めの先行的な行動をとる（災害対策用機械の動きは鈍重）

資料-2

国土交通省

雄物川減災対策協議会
～大洪水から70年・30年～

湯沢河川国道事務所
成瀬ダム工事事務所

防災セミナー　～ 自分の逃げ方を考えよう ～
「マイ・タイムライン講習会」を開催！！

➢ 水災害への備えとなる「マイ・タイムライン※1」の普及促進を目的に、横手市において専門講師（澤　麻美）による講習会を開催しました。

※１：洪水のような進行型災害が発生した際に、「いつ」、「何をするか」を整理した、個人の防災計画。



流域治水アンバサダー
澤　麻美（さわ　あさみ）

- 日　時　：　令和８年２月１４日（土）
  １０時００分～１２時００分
- 会　場　：　十文字地区交流センター
  （横手市役所十文字庁舎）
- 主　催　：　横手市
  湯沢河川国道事務所
  成瀬ダム工事事務所
- 参加者　：　横手市在住の防災士（２８名）

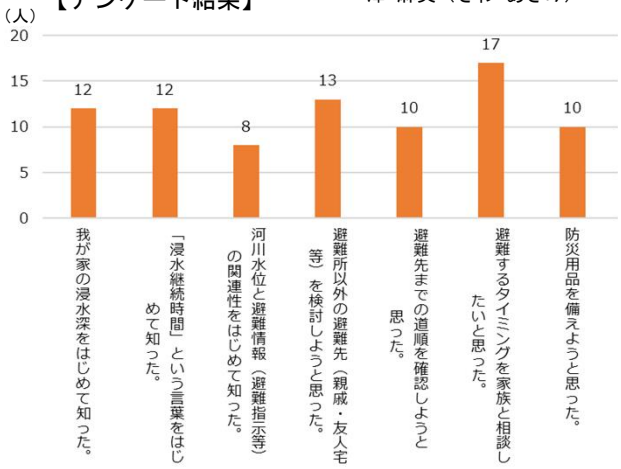
- スケジュール

10:00～10:05　開会あいさつ
（横手市　髙橋市長）
10:05～10:15　流域治水の取組について
（成瀬ダム工事事務所 野口事務所長）
10:15～10:35　最近の気象と情報について
（流域治水アンバサダー　澤　麻美）
10:35～11:55　マイ・タイムライン作成
11:55～12:00　閉会あいさつ

【横手市　髙橋市長：開会あいさつ】
　マイ・タイムラインの作成は、刻々と変化する状況下でどのような行動を取るべきかを考えるよい機会であり、頻発化・激甚化している災害を自分事として捉えると同時に、地域防災力の向上に向け、今後のリーダーシップを期待しています。

【参加者の主な声】
- マイ・タイムライン作成を通して、大雨被害が発生しそうな場合でも、あわてず、命を守るため、日ごろより気象の確認などチェックをまめに行う大切さを知りました。（防災士：４０代）
- 話し方、とても聞きやすいです。（防災士・自治会役員：５０代）
- すごくよい内容なので、グループで話しあったり長めの時間をお願いします。（防災士：４０代）

【アンケート結果】



事前の「知る」「気づく」「考える」を通じて、参加者の防災行動を一歩進めることができた。



開会あいさつ
（横手市　髙橋市長）



最近の気象と情報について
（流域治水アンバサダー　澤　麻美）



マイ・タイムライン作成風景



マイ・タイムライン作成風景